

協議等の記録			
協議名称	広報広聴会議（広聴部会）	協議場所	第1委員会室
		担当職員	田中 悠馬
日時	令和5年6月13日（火曜日）	開議	午前 9時 55分
		閉議	午後 0時 02分
出席委員	○富谷 松山 土岐 山木		
事務局	数井次長 野澤副課長兼総務係長 田中主事		

協議の結果

[開議]

1 議場見学会について

<富谷部会長>

前回6月2日（金）の広聴部会では実施日を8月7日（月）として決定したが、広報広聴会議での広報部会委員からの「同伴者への配慮のため土日開催にするほうが良いのではないか。」との提案を受け、8月19日（土）に変更することとした。

1 内容について

<富谷部会長>

対象の学年について確認する。小学校1～6年生で良いか。

<各委員>

—了—

<富谷部会長>

①活動内容②1回の時間③定員④応募期間と応募多数時の取扱いについて協議する。まず内容について、「歓迎のあいさつ、市議会説明」「議員体験」「議会探検」「クイズコーナー」「フリータイム」「撮影」「終わりのあいさつ」のような流れを提案する。各自検討いただいた意見について発言願う。

<土岐委員>

フリータイムで市の行っている取組を紹介できれば良いと考える。

<山木委員>

市長室等市役所の庁舎見学を取り入れてはどうか。また、議場でマイクを使用した議員体験を行う意見に賛同する。強制ではないが、氏名・学校名・学校に欲しいものや直してほしいもの等簡単に一言発言していただければと思う。

<松山副部会長>

歓迎のあいさつ、議員と行政の仕組みについての説明後、将来の夢や今夢中になっていること等についてテーマを設定し、発言していただく。正副議長室や会派控室等の探検、クイズコーナーを設けることに賛同する。

<富谷部会長>

参加証等記念に残るものを作成すれば良いと考えるがどうか。

<松山副部長>

議員証を参考にラミネートを利用した証明書を作成してはどうか。

<富谷部長>

②1回の時間について、何時間設けるか協議願う。

(協議結果)

1時間半程度を目安に10時からと13時30分から

<山木委員>

探検時、親御さんにはどこにいていただくか。

<富谷部長>

一緒に探検していただくのが良いのではないか。探検場所については、国会の見学として広報予定のため、7・8階のみとする。

<山木委員>

議場は普段立ち入ることのできない場所であるため、特別感を出すべきである。傍聴席から議場以外を探検した後、議場へ入る流れにしてはどうか。

<各委員>

—了—

<富谷部長>

各種時間配分について協議願う。

(協議結果)

①挨拶・国会説明：5分

②探検・見学：20分

③議員体験等フリータイム：30分

④市議会クイズコーナー：10～15分（5問程度）

⑤感想・質問・アンケート：15分

⑥撮影：5分

計85～90分

<松山副部長>

キーワードを会派控室等に設置し、探検時に探していただくのはどうか。

<土岐委員>

つなげて現われた文字を参考にフリータイムトークを行うのはどうか。

<富谷部長>

話し始めの話題づくりになるため、取り入れて良いと思う。キーワードについてアイデアはあるか。

(協議結果)

「マイクラ」…まちづくりをテーマとする

<富谷部長>

議員体験時の発言内容について協議願う。

(協議結果)

演壇にて1人ずつ「小学校名」「氏名」を発言（自由に撮影可とする）

<松山副部会長>

感想を聞くとき、親御さんはどこにいてもらうべきか。子どもが議員席に座る場合、理事者席が良いのではないか。

<土岐委員>

低学年で1人でいることが難しい場合は、横についていただくのが良いのではないか。

<松山副部会長>

アンケートについて、保護者を書いてもらうのか子どもに書いてもらうのか。子どもは感想を述べてもらうため、アンケートは必要ないか。

<富谷部会長>

感想は挙手制で全員の意見を聞けないため、どちらにも配付すべきである。簡単なチェック式のものにすることはどうか。

<土岐委員>

全員に配布するが、発表は数名でよいのではないか。

<山木委員>

時間調整も可能であるため賛同する。

<富谷部会長>

アンケート時間を5分とり、挙手制で議員席から3名程度に発表していただくこととする。

<富谷部会長>

③定員について協議願う。

(協議結果)

1回子ども20人、同伴者は上限なし

<富谷部会長>

④応募期間について協議願う。参加者の予定も考え、1週間前にはメールで参加のお知らせをするほうが良いと考えるがどうか。

<松山副部会長>

議会だよりを見て応募される市民への配慮から先着ではなく抽選にするべきであるとする。

<山木委員>

応募フォームが良いが、個人情報観点を加味するとメールのほうが良いか。

<富谷部会長>

応募方法については事務局宛のメールとする。期間は7月1日(土)から8月13日(日)まで、14日に確認し応募者多数の場合抽選を行い、15日に案内メールを送信することとする。

<事務局>

午前午後でどのように応募を募るのか。

<松山副部会長>

実施を午前中のみの1回にしてはどうか。

<富谷部会長>

応募人数によっては1回のみにしても良いかもしれない。20人では少ないため、30人程度にするのはどうか。

<山木委員>

1回にして人数が多ければ増やせばよいのでは。

<松山副部会長>

定員は25人程度にして、30人受け入れられる体制にしておくのはどうか。

<富谷部会長>

1回のみの実施で定員は20人から25人に変更することとする。

2 役割分担について

<富谷部会長>

委員の各役割について協議願う。

(協議結果)

受付：1F待機…山木委員、8Fへ案内…富谷部会長&松山委員、8F受付…
土岐委員

挨拶：富谷部会長

見学：ガイド…土岐委員&松山委員、サポート…富谷部会長&山木委員

議場司会：山木委員

クイズ：富谷部会長&松山委員

挨拶：松山委員

<富谷部会長>

事前準備として、広報用チラシを土岐委員と山木委員に委ねる。

<松山副部会長>

7月1日からの募集に間に合うように、簡単なものを作成したほうが良い。

<山木委員>

イメージできるような議場の写真があれば背景にできる。

3 その他

特になし。

2 その他

○次回予定

<6月22日(木)一般質問終了後>